

平成13年 9月14日

各 位

会 社 名 **株式会社 ニチレイ**  
 東京都中央区築地六丁目19番20号  
 コード番号 2871  
 問 合 せ 先 財務部長 三田 勇太郎  
 TEL(03)3248-2167

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成13年5月17日の決算発表時に公表いたしました平成14年3月期の単独・連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成14年3月期の単独業績予想の修正

1) 平成13年9月中間期(平成13年4月1日~平成13年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	214,000	3,800	3,800	1,600
今回修正予想 (B)	211,000	3,000	3,100	1,000
増減額 (B - A)	3,000	800	700	600
増減率 (%)	1.4	21.1	18.4	37.5
【参考】 平成12年9月中間期実績 (C)	209,870	8,396	8,071	1,012
増減額 (B - C)	1,130	5,396	4,971	12
増減率 (%)	0.5	64.3	61.6	1.2

2) 平成14年3月期(平成13年4月1日~平成14年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	427,000	9,400	8,900	4,000
今回修正予想 (B)	424,000	7,300	7,100	2,700
増減額 (B - A)	3,000	2,100	1,800	1,300
増減率 (%)	0.7	22.3	20.2	32.5
【参考】 平成13年3月期実績 (C)	412,855	11,831	11,302	2,566
増減額 (B - C)	11,145	4,531	4,202	134
増減率 (%)	2.7	38.3	37.2	5.2

2. 平成14年3月期の連結業績予想の修正

1) 平成13年9月中間期(平成13年4月1日~平成13年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	290,000	7,700	6,300	3,800
今回修正予想 (B)	283,000	5,900	4,800	2,800
増減額 (B - A)	7,000	1,800	1,500	1,000
増減率 (%)	2.4	23.4	23.8	26.3
【参考】 平成12年9月中間期実績 (C)	281,368	11,343	9,847	1,362
増減額 (B - C)	1,632	5,443	5,047	1,438
増減率 (%)	0.6	48.0	51.3	105.6

2) 平成14年3月期(平成13年4月1日~平成14年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	582,000	17,000	14,300	7,000
今回修正予想 (B)	573,000	13,900	11,500	5,100
増減額 (B - A)	9,000	3,100	2,800	1,900
増減率 (%)	1.5	18.2	19.6	27.1
【参考】				
平成13年3月期実績 (C)	560,006	18,596	15,483	4,020
増減額 (B - C)	12,994	4,696	3,983	1,080
増減率 (%)	2.3	25.3	25.7	26.9

3. 修正理由

1) 単独

営業利益

営業利益の減少は、主として、加工食品事業の営業利益が前回発表予想に比べ中間期で約10億円、通期で約17億円減少することによるものであります。

これは、低価格化志向が継続するなかで激しい販売競争に対応したことによる販売促進費の増加、原材料価格の上昇や円安による粗利益率の低下などによるものであります。

経常利益

営業利益は前回発表予想に比べ中間期で8億円、通期で21億円減少する見込みであります。経常利益は、支払利息の減少により金融収支が改善することなどから、前回発表予想に比べ中間期で7億円、通期で18億円の減少となる見込みであります。

当期純利益

当期純利益の減少は、経常利益の減少および特別損失の増加などによるものであります。特別損失の増加として、中間期で投資有価証券評価損約4億円、下半期で低温物流事業における事業所閉鎖損失約2億円の追加などを見込んでおります。

2) 連結

営業利益

営業利益は、単独の営業利益の減少に加え、連結子会社の営業利益が次の理由により減少することから、前回発表予想に比べ中間期で18億円、通期で31億円減少する見込みであります。

低温物流事業・・・流通型物流センターの新規稼動に伴う初期費用の増加  
 食品事業その他(北米)・・・原材料価格の上昇、新工場稼動に伴う初期費用の増加  
 食品卸売事業・・・販売単価の下落による粗利益率の低下

経常利益

経常利益は、支払利息の減少により金融収支が改善することなどから、前回発表予想に比べ中間期で15億円、通期で28億円の減少となる見込みであります。

当期純利益

当期純利益の減少は、経常利益の減少および単独における特別損失の増加によるものであります。

以上